

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成23年11月11日

【四半期会計期間】 第141期第2四半期  
(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

【会社名】 東邦瓦斯株式会社

【英訳名】 TOHO GAS CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 佐伯 卓

【本店の所在の場所】 愛知県名古屋市熱田区桜田町19番18号

【電話番号】 052(872)9342

【事務連絡者氏名】 財務部決算グループマネジャー 木村 幸司

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区京橋2丁目4番12号 京橋第一生命ビル  
東邦瓦斯株式会社東京支社

【電話番号】 03(3271)5444

【事務連絡者氏名】 東京支社長 長谷川 宏幸

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所  
(名古屋市中区栄3丁目8番20号)

株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第140期 第2四半期連結 累計期間	第141期 第2四半期連結 累計期間	第140期
会計期間		自 平成22年 4月1日 至 平成22年 9月30日	自 平成23年 4月1日 至 平成23年 9月30日	自 平成22年 4月1日 至 平成23年 3月31日
売上高	(百万円)	200,769	208,170	436,825
経常利益	(百万円)	15,667	3,504	24,334
四半期(当期)純利益	(百万円)	9,138	2,027	14,491
四半期包括利益又は 包括利益	(百万円)	459	4,297	6,027
純資産額	(百万円)	218,248	213,244	221,501
総資産額	(百万円)	475,256	476,777	495,626
1株当たり四半期 (当期)純利益	(円)	16.53	3.71	26.22
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	(円)			
自己資本比率	(%)	45.9	44.7	44.7
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	14,610	84	53,929
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	16,667	16,484	33,844
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	4,881	6,496	15,183
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(百万円)	9,966	11,734	21,806

回次		第140期 第2四半期連結 会計期間	第141期 第2四半期連結 会計期間
会計期間		自 平成22年 7月1日 至 平成22年 9月30日	自 平成23年 7月1日 至 平成23年 9月30日
1株当たり四半期純利 益又は四半期純損失 ( )	(円)	2.86	6.01

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれていない。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載していない。

3 第140期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理している。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社において営まれている事業の内容について、重要な変更はない。

また、主要な関係会社についても異動はない。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業等のリスクについて、重要な変更はない。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はない。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結会計期間末のお客さま数は231万3千件、前年同四半期末に比べ0.6%の増加となった。当第2四半期連結累計期間のガス販売量は合計で18億1千7百万<sup>3</sup>、前年同期比2.7%減少した。用途別では、家庭用は前年同期比0.8%減少した。業務用は3.5%減少した。他ガス事業者向けの卸供給は1.5%増加した。LPG販売量は3.7%の減少となった。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、ガス販売量は減少したものの原料費調整制度により売上単価が上昇したことから、前年同期比74億1百万円増加し、2,081億7千万円となった。売上原価は、原油価格上昇による原材料費の増加により、前年同期比208億9千7百万円増加し、1,386億7千5百万円となった。この結果、経常利益は前年同期比121億6千3百万円減少し、35億4百万円となった。四半期純利益は前年同期比71億1千1百万円減少し、20億2千7百万円となった。

セグメントの業績を示すと、次のとおりである。

#### ガス

お客さま数は、前年同期比0.6%増の231万3千件、ガス販売量は前年同期比2.7%減の18億1千7百万<sup>3</sup>となった。売上高は、ガス販売量は減少したものの原料費調整制度により売上単価が上昇したことから、前年同期比50億9百万円増の1,480億6千万円となった。セグメント利益は、原油価格上昇による原材料費の増加により、前年同期比110億1千9百万円減の11億7千3百万円となった。

#### 工事及び器具

売上高は前年同期比8億3千1百万円増の155億3千4百万円となった。セグメント利益は前年同期比3億3千3百万円減の1億5千万円となった。

#### LPG・その他エネルギー

LPG販売量は、前年同期比3.7%減の18万5千トンとなった。売上高は前年同期比17億8千8百万円増の358億2千2百万円となった。セグメント利益は前年同期比3億1千5百万円減の4億9千9百万円となった。

#### その他

売上高は前年同期比2億9千万円増の170億5千4百万円となった。セグメント利益は前年同期比3億2千9百万円減の7億8千7百万円となった。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は次のとおりである。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、運転資金の増加などにより、8千4百万円の支出となり、前年同期比146億9千5百万円減少となった。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資をはじめとして164億8千4百万円の支出となり、前年同期比1億8千2百万円の支出の減少となった。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、コマーシャル・ペーパーの発行などにより、64億9千6百万円の収入となり、前年同期比113億7千8百万円の収入の増加となった。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は117億3千4百万円となった。

## (3) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループの研究開発費は、8億2百万円である。

- (注) 1 本書面でのガス販売量は、すべて1m<sup>3</sup>当たり46.04655メガジュール(11,000キロカロリー)換算で表示している。
- 2 本書面に記載の売上高、仕入高等の金額には、消費税等は含まれていない。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	805,998,157
計	805,998,157

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	545,966,429	545,966,429	東京証券取引所 (市場第一部) 名古屋証券取引所 (市場第一部) 大阪証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は1,000株である。
計	545,966,429	545,966,429		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項なし。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項なし。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日		545,966,429		33,072		8,027

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6番6号	34,439	6.30
桜和投資会	名古屋市熱田区桜田町19番18号	16,531	3.02
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1番2号	16,521	3.02
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	15,053	2.75
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	14,364	2.63
第一生命保険株式会社	東京都千代田区有楽町1丁目13番1号	12,914	2.36
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	12,542	2.29
三菱商事株式会社	東京都千代田区丸の内2丁目3番1号	11,361	2.08
明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内2丁目1番1号	9,205	1.68
東邦ガス共栄持株会	名古屋市熱田区桜田町19番18号	8,492	1.55
計		151,425	27.73

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 60,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 541,046,000	541,046	
単元未満株式	普通株式 4,860,429		
発行済株式総数	545,966,429		
総株主の議決権		541,046	

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式)					
東邦瓦斯株式会社	名古屋市熱田区 桜田町19番18号	60,000		60,000	0.01
計		60,000		60,000	0.01

2 【役員】の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間において、役員の変動はない。



## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)及び「ガス事業会計規則」(昭和29年通商産業省令第15号)に準拠して作成している。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けている。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
製造設備	65,135	63,247
供給設備	176,120	173,318
業務設備	28,613	28,390
その他の設備	31,069	30,433
建設仮勘定	19,298	17,411
<b>有形固定資産合計</b>	<b>320,236</b>	<b>312,800</b>
<b>無形固定資産</b>		
その他	2,178	1,891
<b>無形固定資産合計</b>	<b>2,178</b>	<b>1,891</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	50,559	44,921
その他	21,088	22,689
貸倒引当金	20	34
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>71,627</b>	<b>67,576</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>394,042</b>	<b>382,268</b>
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	22,058	11,985
受取手形及び売掛金	44,644	41,657
たな卸資産	19,616	24,016
その他	14,782	16,552
貸倒引当金	274	271
<b>流動資産合計</b>	<b>100,826</b>	<b>93,941</b>
<b>繰延資産</b>		
開発費	757	568
<b>繰延資産合計</b>	<b>757</b>	<b>568</b>
<b>資産合計</b>	<b>495,626</b>	<b>476,777</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>固定負債</b>		
社債	79,992	79,992
長期借入金	37,608	37,432
退職給付引当金	20,342	20,432
ガスホルダー修繕引当金	1,671	1,721
保安対策引当金	12,991	11,991
長期預り金	4,595	2,930
その他	6,849	6,572
固定負債合計	164,052	161,073
<b>流動負債</b>		
1年以内に期限到来の固定負債	26,121	26,141
支払手形及び買掛金	24,343	17,362
短期借入金	13,150	13,990
未払法人税等	8,750	3,378
その他	37,195	41,169
流動負債合計	109,560	102,041
<b>引当金</b>		
ガス熱量変更引当金	512	417
引当金合計	512	417
<b>負債合計</b>	<b>274,125</b>	<b>263,533</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	33,072	33,072
資本剰余金	8,387	8,387
利益剰余金	164,361	161,400
自己株式	1,053	24
株主資本合計	204,768	202,836
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	16,900	13,023
繰延ヘッジ損益	242	2,685
その他の包括利益累計額合計	16,657	10,338
少数株主持分	75	68
純資産合計	221,501	213,244
<b>負債純資産合計</b>	<b>495,626</b>	<b>476,777</b>

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	200,769	208,170
売上原価	117,777	138,675
売上総利益	82,991	69,495
供給販売費及び一般管理費	1 67,655	1 66,295
営業利益	15,335	3,200
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	521	659
受取賃貸料	284	286
雑収入	697	537
営業外収益合計	1,508	1,487
営業外費用		
支払利息	1,087	1,017
雑支出	88	166
営業外費用合計	1,176	1,183
経常利益	15,667	3,504
特別損失		
投資有価証券評価損	890	-
特別損失合計	890	-
税金等調整前四半期純利益	14,777	3,504
法人税等	5,647	1,483
少数株主損益調整前四半期純利益	9,129	2,021
少数株主損失( )	8	6
四半期純利益	9,138	2,027

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,129	2,021
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,375	3,876
繰延ヘッジ損益	3,213	2,442
その他の包括利益合計	9,589	6,318
四半期包括利益	459	4,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	451	4,291
少数株主に係る四半期包括利益	8	6

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	14,777	3,504
減価償却費	19,875	19,781
引当金の増減額（は減少）	340	995
受取利息及び受取配当金	525	663
支払利息	1,087	1,017
投資有価証券評価損益（は益）	890	-
売上債権の増減額（は増加）	3,924	2,986
たな卸資産の増減額（は増加）	1,781	4,399
仕入債務の増減額（は減少）	11,978	6,968
その他	7,333	7,352
小計	18,595	6,910
利息及び配当金の受取額	525	663
利息の支払額	1,131	1,034
法人税等の支払額	3,378	6,624
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,610	84
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	17,010	15,826
固定資産の売却による収入	126	55
投資有価証券の取得による支出	44	316
投資有価証券の売却による収入	0	0
その他	260	397
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,667	16,484
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	6,070	840
コマーシャル・ペーパーの純増減額（は減少）	3,500	11,500
長期借入れによる収入	900	11,290
長期借入金の返済による支出	1,434	11,446
社債の発行による収入	-	9,962
社債の償還による支出	10,000	10,000
長期預り金の返済による支出	1,670	1,667
自己株式の取得による支出	20	1,759
配当金の支払額	2,211	2,199
少数株主への配当金の支払額	0	0
その他	14	23
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,881	6,496
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	6,938	10,072
現金及び現金同等物の期首残高	16,904	21,806
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 9,966	1 11,734

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

項目	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
税金費用の計算	税金費用については、税金等調整前四半期純利益に当連結会計年度の見積実効税率を乗じて計算している。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用している。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)																
<p>1 たな卸資産の内訳は、次のとおりである。</p> <table border="0"> <tr> <td>商品及び製品</td> <td>5,098百万円</td> </tr> <tr> <td>仕掛品</td> <td>841百万円</td> </tr> <tr> <td>原材料及び貯蔵品</td> <td>13,676百万円</td> </tr> </table> <p>2 偶発債務</p> <p>(1) 連結会社以外の会社の金融機関からの借入金に対する債務保証額は下記のとおりである。</p> <table border="0"> <tr> <td>水島エルエヌジー販売㈱</td> <td>1,218百万円 (36百万円)</td> </tr> </table> <p>( )内は当連結会社負担額</p> <p>(2) 従業員の金融機関からの住宅融資金に対する債務保証額は、936百万円である。</p>	商品及び製品	5,098百万円	仕掛品	841百万円	原材料及び貯蔵品	13,676百万円	水島エルエヌジー販売㈱	1,218百万円 (36百万円)	<p>1 たな卸資産の内訳は、次のとおりである。</p> <table border="0"> <tr> <td>商品及び製品</td> <td>5,428百万円</td> </tr> <tr> <td>仕掛品</td> <td>404百万円</td> </tr> <tr> <td>原材料及び貯蔵品</td> <td>18,183百万円</td> </tr> </table> <p>2 偶発債務</p> <p>(1) 連結会社以外の会社の金融機関からの借入金に対する債務保証額は下記のとおりである。</p> <table border="0"> <tr> <td>水島エルエヌジー販売㈱</td> <td>1,092百万円 (32百万円)</td> </tr> </table> <p>( )内は当連結会社負担額</p> <p>(2) 従業員の金融機関からの住宅融資金に対する債務保証額は、862百万円である。</p>	商品及び製品	5,428百万円	仕掛品	404百万円	原材料及び貯蔵品	18,183百万円	水島エルエヌジー販売㈱	1,092百万円 (32百万円)
商品及び製品	5,098百万円																
仕掛品	841百万円																
原材料及び貯蔵品	13,676百万円																
水島エルエヌジー販売㈱	1,218百万円 (36百万円)																
商品及び製品	5,428百万円																
仕掛品	404百万円																
原材料及び貯蔵品	18,183百万円																
水島エルエヌジー販売㈱	1,092百万円 (32百万円)																

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)																
<p>1 供給販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりである。</p> <table border="0"> <tr> <td>給料</td> <td>10,128百万円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td>16,318百万円</td> </tr> <tr> <td>退職給付引当金引当額</td> <td>2,072百万円</td> </tr> <tr> <td>ガスホルダー修繕引当金引当額</td> <td>85百万円</td> </tr> </table> <p>2 都市ガス事業においては、事業の性質上気温等の影響により、業績に季節的変動がある。</p>	給料	10,128百万円	減価償却費	16,318百万円	退職給付引当金引当額	2,072百万円	ガスホルダー修繕引当金引当額	85百万円	<p>1 供給販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりである。</p> <table border="0"> <tr> <td>給料</td> <td>10,207百万円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td>16,640百万円</td> </tr> <tr> <td>退職給付引当金引当額</td> <td>1,974百万円</td> </tr> <tr> <td>ガスホルダー修繕引当金引当額</td> <td>70百万円</td> </tr> </table> <p>2 都市ガス事業においては、事業の性質上気温等の影響により、業績に季節的変動がある。</p>	給料	10,207百万円	減価償却費	16,640百万円	退職給付引当金引当額	1,974百万円	ガスホルダー修繕引当金引当額	70百万円
給料	10,128百万円																
減価償却費	16,318百万円																
退職給付引当金引当額	2,072百万円																
ガスホルダー修繕引当金引当額	85百万円																
給料	10,207百万円																
減価償却費	16,640百万円																
退職給付引当金引当額	1,974百万円																
ガスホルダー修繕引当金引当額	70百万円																

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結 貸借対照表に記載されている科目の金額との関係 現金及び預金 10,279百万円 預入期間が3か月を超える 312百万円 定期預金 <hr/> 現金及び現金同等物 9,966百万円	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結 貸借対照表に記載されている科目の金額との関係 現金及び預金 11,985百万円 預入期間が3か月を超える 251百万円 定期預金 <hr/> 現金及び現金同等物 11,734百万円



(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成22年6月28日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	2,212	4.0	平成22年3月31日	平成22年6月29日

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成22年10月29日 取締役会	普通株式	利益剰余金	2,211	4.0	平成22年9月30日	平成22年11月30日

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	2,201	4.0	平成23年3月31日	平成23年6月27日

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年10月28日 取締役会	普通株式	利益剰余金	2,183	4.0	平成23年9月30日	平成23年11月30日

3 株主資本の著しい変動

当社は、平成23年6月24日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、次のとおり自己株式の消却を決議し実施した。

- 1 消却する株式の種類  
当社普通株式
- 2 消却する株式の数  
7,071,260株
- 3 消却実施日  
平成23年6月30日

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガス	工事及び 器具	LPG・ その他 エネルギー	計				
売上高								
外部顧客への売上高	143,015	13,803	33,535	190,354	10,414	200,769	-	200,769
セグメント間の内部売上 高 又は振替高	35	899	497	1,433	6,349	7,782	7,782	-
計	143,051	14,703	34,033	191,787	16,763	208,551	7,782	200,769
セグメント利益	12,192	484	815	13,492	1,116	14,609	726	15,335

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LNG受託加工事業、ビル賃貸事業、情報処理事業、設備設計施工事業、リース事業等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額726百万円は、セグメント間取引消去額である。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガス	工事及び 器具	LPG・ その他 エネルギー	計				
売上高								
外部顧客への売上高	148,024	14,676	35,286	197,987	10,183	208,170	-	208,170
セグメント間の内部売上 高 又は振替高	35	858	536	1,430	6,871	8,301	8,301	-
計	148,060	15,534	35,822	199,417	17,054	216,472	8,301	208,170
セグメント利益	1,173	150	499	1,823	787	2,610	589	3,200

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LNG受託加工事業、ビル賃貸事業、情報処理事業、設備設計施工事業、リース事業等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額589百万円は、セグメント間取引消去額である。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

( 1 株当たり情報)

前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)																				
<p>1 株当たり四半期純利益      16円53銭</p> <p>なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していない。</p> <p>1 株当たり四半期純利益の算定上の基礎は以下のとおりである。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">四半期純利益</td> <td style="text-align: right;">9,138百万円</td> </tr> <tr> <td>普通株式に係る四半期純利益</td> <td style="text-align: right;">9,138百万円</td> </tr> <tr> <td>普通株主に帰属しない金額の主要な内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>    該当事項はない。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通株式の期中平均株式数</td> <td style="text-align: right;">552,986,322株</td> </tr> </table>	四半期純利益	9,138百万円	普通株式に係る四半期純利益	9,138百万円	普通株主に帰属しない金額の主要な内訳		該当事項はない。		普通株式の期中平均株式数	552,986,322株	<p>1 株当たり四半期純利益      3円71銭</p> <p>なお、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していない。</p> <p>1 株当たり四半期純利益の算定上の基礎は以下のとおりである。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">四半期純利益</td> <td style="text-align: right;">2,027百万円</td> </tr> <tr> <td>普通株式に係る四半期純利益</td> <td style="text-align: right;">2,027百万円</td> </tr> <tr> <td>普通株主に帰属しない金額の主要な内訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>    該当事項はない。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通株式の期中平均株式数</td> <td style="text-align: right;">546,977,376株</td> </tr> </table>	四半期純利益	2,027百万円	普通株式に係る四半期純利益	2,027百万円	普通株主に帰属しない金額の主要な内訳		該当事項はない。		普通株式の期中平均株式数	546,977,376株
四半期純利益	9,138百万円																				
普通株式に係る四半期純利益	9,138百万円																				
普通株主に帰属しない金額の主要な内訳																					
該当事項はない。																					
普通株式の期中平均株式数	552,986,322株																				
四半期純利益	2,027百万円																				
普通株式に係る四半期純利益	2,027百万円																				
普通株主に帰属しない金額の主要な内訳																					
該当事項はない。																					
普通株式の期中平均株式数	546,977,376株																				

(重要な後発事象)

該当事項なし。

## 2 【その他】

### 第141期の中間配当

平成23年10月28日開催の取締役会において、次のとおり決議した。

中間配当金総額	2,183百万円
1株当たり中間配当額	4円
支払請求権の効力発生日 並びに支払開始日	平成23年11月30日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項なし。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月11日

東邦瓦斯株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 柴 田 光 明

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 柏 木 勝 広

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 轟 芳 英

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている東邦瓦斯株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、東邦瓦斯株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。